



KIN-BALL[®] sport World Cup TOKYO 2017

独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ振興基金助成事業

第9回キンボールスポーツ ワールドカップ2017東京大会

- 期 間 2017年10月30日(月)～11月5日(日)
- 場 所 東京都中央区立総合スポーツセンター
- 部 門 男子の部、女子の部

- 参加国 12の国と地域— ベルギー、カナダ、中国、チェコ、フランス、香港、韓国、スペイン、スイス、デンマーク、シンガポール、日本— (デンマークは男子チームのみ、シンガポールは女子チームのみ)

- | | | | | |
|-------|------|--------|------|---------|
| ■ 結 果 | 男子の部 | 優勝 カナダ | 女子の部 | 優勝 カナダ |
| | | 2位 日本 | | 2位 日本 |
| | | 3位 チェコ | | 3位 フランス |

満を持してのワールドカップ日本開催。大会運営はもちろん、海外からのプレーヤーやコーチ、役員が大会期間中、快適に過ごし、試合に集中できるようにするのがスタッフの使命です。

10月29日(土)には主たる宿泊施設である国立オリンピック記念青少年総合センターに続々と海外からのチームが入ってきました。いよいよ、明日から本番だという緊張感が走ります。



30日(月)は小学校訪問。中央区16校、荒川区1校の小学校を各国の代表選手が訪問し、小学生との交流を図りました。行政の協力があって実現できたイベントですが、選手は小学生たちの熱烈な歓迎ぶりに驚き、そして感動。自国でもこんな素晴らしい扱いを受けたことがない、まるでスターになったようだ、一生の思い出になる、などの感想が寄せられました。キンボールスポーツを通しての交流はもちろん、日本文化の紹介や折り紙実践、一緒に書写体験など各校独自のおもてなしプログラムがあり、選手はもちろん、小学生にとっても実りある体験、思い出になったと思います。後日大会会場に足を運んだ小学生もあり、訪問してくれた選手を懸命に応援し、それに応えるように劣勢だったピリオドを逆転させたスペインの男子チーム。試合終了後には選手と小学生がハイタッチをし、喜びを分かち合っていました。



31日(火)から11月2日(木)には予選が行われました。13点制で3ピリオド先取。11点を獲得したチームが出た段階で最下位のチームは退場し、2チームで戦うという形式で、これは前回のスペイン大会と同じです。今大会では、ラウンド9、ラウンド6という、いわば、準々決勝、準決勝があり、本当に実力のあるチームが決勝に進む工夫がなされていました。今回の大会は特に男子チームの力が拮抗していました。前回大会では明らかに力の差があったチームが見違えるほど上手くなっており、なかなか点差がつかない試合が多くありました。そのため日本男子は初戦2勝したものの、予想外の苦戦に見ている方はハラハラドキドキの連続で、胃が痛くなる程でした。最終戦はカナダに破れ、予選4位通過。一方、日本女子は安定した試合運びで1ピリオドも取られることなく、3戦全勝。カナダも同じであったため、予選順位を決めるために2ピリオド先取制の試合が行われました。敗れはしたものの、決勝戦で戦うであろう強豪カナダと戦えたことは相手の力や戦術を体感することができ、互角に戦えることを確信した試合でした。2日(木)には女子のラウンド9が開催され、日本女子はラウンド6に駒を進めました。



4日(土)には男子のラウンド9、と男女のラウンド6が開催され、日本は男女ともに決勝戦へ。いよいよ勝負の時です。

